

## 特別対談 医学部合格のために必要な学力と人間性を育てる教育を 「利他」の心を育て、人格を高めたい

医学部進学実績をめぐって近年、著しい成果を出している学校法人清風学園(清風中学・高校、大阪市天王寺区)。

医療人を志している医学部受験生のためにいま、どのような教育が求められているのか。

平岡宏一・同校長と医系専門予備校として全国一の進学実績を重ねている「メディカルラボ」本部教務統括、可児良友氏に語っていただいた。



▲平岡宏一校長と可児良友氏

平岡宏一  
校長  
清風中学・高校

1961年生まれ。清風高校普通科を経て、早稲田大学第一文学部卒。高野山大学大学院博士課程(密教学専攻単位取得後退学)。チャペット密教に関する著書、論文等を多数執筆。ダライラマ・法王来日の際はチベット語の通訳も担当。

### 医系専門予備校メディカルラボ 可児良友 本部教務統括

1991年から大手予備校で受験生を指導。  
2006年、「メディカルラボ」開校に責任者として  
かわり、現在は本部教務統括を務める。医学部受験に関する著書を多数執筆。医学部進学をテーマに数多くの講演を行っている。

### ◆医学部進学をめぐって

可児 清風高校は令和5年度入試で医学部医学科合格者が88名と過去5年間で最も高い実績を出していらっしゃいます。その理由はどういったところにあるのでしょうか。

平岡 近年、医学部を希望する生徒たちが増えているのは事実ですがそれだけでは合格者は増えません。というのも、医学部入試では必ず面接試験が課され、受験生の人間性や倫理観などが評価されているからです。ですから、医師としての理想の将来像をはつきりさせることを大切にしながら指導しています。

可児 そうですね。メディカルラボでも、建前ではなく本音で、理想とする医師としての将来像をを考えさせることを大切にしています。

平岡 中高の時代から自分の将来像に関してしっかりと考へ方を持つかどうかはすごく大切なことです。清風高校の医師を目指す生徒の多くはしっかりと目標をもち、志望が変わらない感じです。

可児 素晴らしいですね。メディカルラボでは、面接対策の専門講師によるマンツーマン授業で医療について様々な視点で考えさせることで、医師になるという自覚を育てるとともに、本気で医師になりたいという気持ちを持てるよう手助けしています。

平岡 そういった取り組みは大切ですね。面接試験では受験生本人が医学に強い興味を持つことには勝負になりません。最近、ほとんどどの大学が学校推薦型選抜を採用していますが、そこでは興味が尖っている生徒たちが合格しているように感じています。

可児 医療や医学に関する自分の将来像や、特定の分野に対して関心をもつている生徒たちは直接に強いのですね。

平岡 いわゆる偏差値が高いだけでなく、人格教育も求められているのです。

### ◆新しい教育改革をめぐって

可児 大学入試改革をめぐって、いわゆる学力の3要素(知識・技能・思考力・判断力・表現力)「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をバランスよく評価することが求められています。貴校ではどのように取り組まれていますか。

平岡 今年の高校2年生から学習指導要領も変わりました。新たな大学入学共通テストに対応するためには特に国語力が重要だと思います。大学入学共通テストでは数学や物理・化学・生物など理科目の問題も国語力がなければ何が問われているかが把握できません。また、「主体性・多様性・協働性」を身につけるために、社会的な視座を持ちやんと持つことも大切ですね。

今年の大坂大学医学部の面接試験では、トルコの地震についてどう考へるか、聞かれたそ�で单に地震の発生を知っているだけではダメで、そこで起こった出来事を具体的に掘り下げて考へる必要があります。例えば、一般的に人間は水分を取らないと7~2時間くらいしか生きられないと言われています。しかし、この地震では280時間も生きた人がたくさんいました。こういった具体的な出来事に対し、社会的な視座を持ち、問題意識を持っていないと、面接試験でうまく答えられません。学力+αで、社会や世界の動きについて関心を持つ必要があります。

可児 そのような社会的な視座を持つように、普段から生徒たちにどのように指導されているのですか。

平岡 本校では毎朝、朝礼があります。そこでは、その時々に起きている社会的な問題に関して踏み込んで話すことと、社会的視座を持つ手助けをしています。

今、生徒たちは納得感がなかつたらやりません。以前は、「とにかく頑張れ」でも動く生徒がいましたが、今では生徒自身にしっかりした目的意

識をもたせることが大切です。

可児 納得感を持たせるのは本当に重要ですね。それをいかに引き出すか、本人に考えさせる時間をどれだけ持たせるかが指導側の大重要な役割だと思います。

平岡 また、これからは僕という考え方が今まで以上に重要なっています。今の生徒たちはYoutTubeなどで価値観を形成しているんじゃないですか。だからこそ倫理的な教育、いわゆる僕が大切です。

可児 おっしゃる通りですね。YoutTubeなどで自分の見たいものばかり見ていると自分本位になりがちで、他者への配慮や他者の気持ちに対する想像力みたいなのがなかなか育ちにくい。医師になつた場合、患者主体の医療を実践するためには、患者さんの気持ち、他者の心がちゃんと想像でき、共感できる力が必要です。子供の頃の僕は本当に大事ですね。

平岡 お医者さんの仕事は「利他」業そのものですから、やはりそういう意識の人にお医者様になつてもらいたいですね。

#### ◆学習環境をめぐって

可児 具体的にはどのようなことを意識して学習環境を整えていらっしゃるのでしょうか。

平岡 本校では生徒たちのモチベーションを上げるためにOBにも活躍してもらっています。本校は充実した自習室があり、普段は教員が順番で自習室に来る生徒たちをみています。この生徒たちのサポートとして、休日には大学進学したOBたちが指導の手伝いに来てくれます。「休日勉強会」と名付けていますが、日曜日のほか長期休暇中やお正月にも開いています。先輩たちから聞く大学生活の話や、志望大学に合格するためにどのように勉強していたかというアドバイスは、生徒のモチベーションを上げるのにとても効果的ですよ。

可児 私たちもチューター制度を採用し、現役

の医学部生を校舎に常駐させています。彼らには、生徒たちの質問に答えたり、医学部での学生生活を話してもらったりしています。受験に成功した先輩からの助言は役に立つものですし、生徒も学校生活での悩みやモチベーションに関することも相談できるので、受験に対しても前向きな気持ちになれるようです。この制度はとても有効ですね。

平岡 また、授業では特に論述指導を重視していますね。論文の添削をきめ細かく実施することにより、より深い思考力や判断力、表現力を身につけることができています。希望する生徒はこの添削を30回でも40回でも受けられます。

可児 添削指導は手間がかかるので大変ですが、その分、効果は大きいです。私たちも全ての授業がマンツーマンなので、論述・記述の添削を行なながら学力の3要素を伸ばし、医学部に合格できる力を身につけさせています。

#### ◆学びのスイッチが入れば、人は変わる

可児 それ以外にもなにか取り組まれていることがありますか。

平岡 学びのスイッチを入れば、生徒は大きく変わります。M君のことを紹介させてください。

M君は中学入試でそこそこの成績で入ってきましたが、中学時代は勉強も部活動も中途半端で、ある程度できたらやめてしまうような子でした。高校進学時、学業への取り組みが芳しくなかつたので、担任や私たちが彼のために「激励会」をやるくらいやる気がない子でした。

しかし、高校2年の秋、自分より成績が低いと思っていた生徒がいつの間にか自分を追い越したのを知り、勉強は自分でやるものだと気付いたのです。それからは俄然、やる気をだして勉強に励みだしたのです。神戸の薬科大学に進学したあと、東京医科歯科大学の大学院で博士を取得し、いまでは米国コロンビア大学で多くのノーベル

賞の受賞者に囲まれて、脳の研究をしています。

「清風学園で勉強ができなかつたときも、切り捨てられて居場所がないようなことは決してなかった。先生たちが常に前向きになるように声をかけてくれたおかげで、自分はこうやってチャンスを掴むことができた」とも言ってくれています。

可児 ほんとうにスイッチが入れば、人が変わりますね。自らの損得だけではなく、自分をどうやつけて高めていくか。そういうことを羅針盤にして教育を取り組んでいきたいですね。

#### ◆医学部を目指す人たちへのメッセージ

可児 これから医学部を目指すお子さんをお持ちの保護者の方に、メッセージをお願いします。

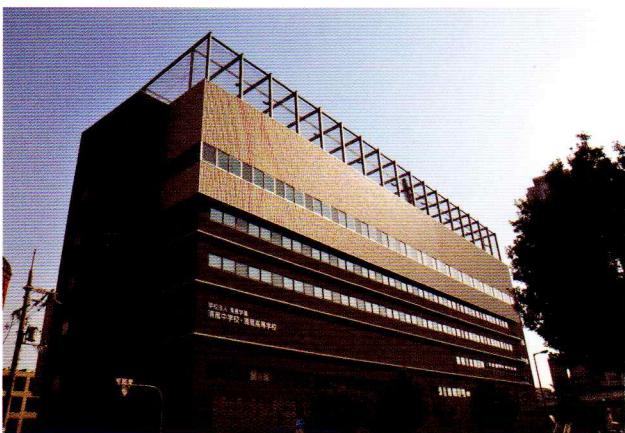
平岡 もしも保護者の方が医師であれば、医師として感動したことを子どもに伝えてほしいですね。東大阪市にT先生という整形外科医がいました。

す。宗教にも関心がおありで、親しく話していますが、ギネスに乗るぐらい数多くの股関節の手術をしている人です。私の友人のお母さんがT先生の手術を受けたところ、30年ぐらい股関節が痛くて這つて歩くような生活をしていたのが歩けなくなりました。80歳を過ぎ、私も一緒に高野山にお参りしましたが、感極まって泣いて喜んでいましたよ。やはり、医者は人に希望を与える仕事をです。

保護者の方も医療の仕事をしていらっしゃつたら、やはり感動した体験があると思います。そういうお話をぜひお子さんにしてください。そこで医療に対する憧れの気持ちも強まり、モチベーションも高まります。

可児 私たちの予備校でも社会貢献されている医師に生徒向けの講演をしていただく機会をもっています。今秋にはアフリカでボランティア活動をしている医師に、東京と大阪で話していました。たく予定です。そのような講演会を通して生徒たちは医学部受験に対し前向きな気持ちになりますね。

可児 本日はとても示唆に富んだお話を聞かせていただきありがとうございました。



◎清風学園(清風中学校・高等学校)

大阪市天王寺区石ヶ辻町12番16号。生徒数は中学27クラス(1056人)、高校47クラス(1749人)。2023年の医学部進学実績(保健学科を除く)は国立大学16人(うち現役7人)、私立大学72人(同16人)。

◎医系専門予備校 メディカルラボ

北海道から鹿児島まで全国27校舎ネットワークを展開している医系専門予備校。  
完全個別による「授業・カリキュラム」「受験戦略」「担任制度」などの合格メソッドで2023年度 医学部医学科合格実績1,183名(医系専門予備校No.1※)。  
※「株式会社東京商工リサーチ」調べ